

出水市公共施設適正配置計画検討委員会議事録

会議名	第2回 出水市公共施設適正配置計画検討委員会
開催日時	平成26年10月2日 午前10時00分から午後0時20分まで
開催場所	出水市役所本庁203会議室
委員の出席状況	南委員 (出席) 松岡委員 (出席) 岡委員 (出席) 平中委員 (出席) 切通委員 (出席) 肱岡委員 (出席) 特手委員 (出席) 田上委員 (出席) 岩下委員 (出席) 大園委員 (出席) 濱島委員 (欠席) 澤田委員 (出席) 古市委員 (出席) 税所委員 (出席) 上垣委員 (出席)

◆ 会次第及び会議要旨

事務局	<p>1 開会 (事務局より開会あいさつ)</p> <p>2 会議録の確認について (前回の会議録について、問題ないことを確認)</p> <p>3 説明</p>
事務局	<p>(1) 出水市の財政状況について</p> <p>事務局 (財政課長 富田) より財政状況についての概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市まちづくり計画の改定 財政計画を見直した。9月議会で承認いただいたところ。 ・普通交付税の段階的減少 合併による優遇措置として、年間12億円～13億円の普通交付税の優遇措置をうけてきたが、今後平成28年度から平成32年度にかけて段階的に減少すること ・庁舎建設、北薩広域行政事務組合の新焼却処分場建設などの大型事業を控えている ・施設白書における今後の更新費用を見ると、今後、老朽化を迎えた全ての施設の建替えを従来どおりやっていくことは現実的でない。 ・今の行政サービスを可能な限り落とさずに、人口増・交流人口の増・地域の活性化・市の活性化を進めていくには、無駄な部分・効率的でない部分などをきちんと整理したうえで、今後10年20年後の出水市を存続できるように進めていきたい。

	<p>事務局（財政係長 宮崎）より資料1に基づき説明</p> <p>P1 平成25年度各会計決算の状況 P2 平成25年度決算の状況（普通会計） P3 平成25年度地方財政状況調査より主な財政指数 P4～5 財政計画 P6 普通交付税の段階的減少</p> <p>今後、以下の点について考慮して事業実施をしていかなければならない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通交付税の減少 ・大規模事業（庁舎建設・北薩広域の新焼却処分場） ・施設の改修費・投資的経費など ・病院事業の経営状況 ・市税等自主財源の確保 ・行政改革における事務事業の見直し ・事業実施における費用対効果
委員	決算の説明（P2）の中の「繰入金」について、どのような財源から繰り入れるのか。
事務局	ほぼ「基金」からの繰入れである。「基金」とは、お金が足りないときに財源とするために、積み立てているお金で、庁舎建設や財政調整のために積み立てているものなどがある（資料1 P2 主な基金の状況等について説明）。
委員	繰入金が増えると財政を圧迫するので、維持補修費を圧縮しないといけないということになるのか。
事務局	維持補修費が現状見込んでいるものより増えると、その調整のためにさらに繰入金を増やして対応しないといけなくなるということ。財政計画では、平成29年度からは基金を取り崩さないとやっていけない厳しい状況になると見込んでいるが、これにはまだ施設にかかる投資的経費を見込んでいない。今後、施設マネジメントの中で推計される投資的経費を見込んで推計したものを加えると、さらに状況は厳しくなる。
委員	維持補修よりも、投資的経費のほうが重要。維持補修は修繕など日常的なもの。投資的経費は改築とか大規模なもの。財政計画の見込みは、財政状況からいくとこのくらいは投資できるであろうという金額であり、これから施設の問題をきちんと見て推計していくと、今見込んでいる経費ではすまない、ということになることが予想される。
事務局	投資的経費は、平成29年度以降、24億円くらいで推計している。歳入の状況から、確保できるのが24億円くらいとの推計による。この投資的経費には、適正配置計画に基づく施設の大規模改修などの具体的事業を見込んでいないことから、今後それらの事業

	に係る財源をどうやって賄うか、ということになる。
委員	今の公共施設をそのまま維持していくとなると、投資的経費が莫大にかかっていく。その費用をどうやって圧縮していくかを考えるのがこの委員会の責務。できるだけ投資を少なくしていく方法を考えなくてはならない。
委員	<p>財政計画について</p> <p>①北薩広域行政事務組合の新焼却処分場建設に関して、出水市・阿久根市・長島町の各構成団体が地方債を発行するということがあったが、同組合が地方債を発行するものではないのか。</p> <p>②改修や新庁舎建設などに対する交付税措置、合併特例債などがあると思うが、財政計画には加味されているのか。</p> <p>③新市まちづくり計画5年間延長について、合併前の財政シミュレーションと今回の財政シミュレーションには乖離があるはずだが、議会では指摘があったか。</p>
事務局	<p>①各構成団体の合併特例債、過疎債といった有利な財源があり、それらを使用したほうが各構成団体の財政負担が抑えられることから、各構成団体がそれぞれ地方債を発行することとしている。</p> <p>②交付税の算入額も盛り込んでいる。その他、合併で広域化することでお金がかかっている分で5億6千万円程度交付税があると見込んでいる。</p> <p>③シミュレーションの乖離の要因について、大きなところとしては扶助費、人件費があげられる。扶助費については、政権交代により子ども手当などが追加されたこと、人件費は平成16年当時の推計が厳しい基準で推計していたため、乖離が生じているものと考ええる。</p>
委員	公共施設の問題は合併当初には考慮できていなかった問題で、全国の自治体でもここ数年でやっと気が付いてきた問題。今後、財政は更に厳しくなるという認識をもっただいて、何らかの形で財政を維持していかななくてはいけないが、子供や孫の世代に借金をまわさなくてはいけない、財政破たんしてしまうかもしれない、ということにならないように知恵を絞っていく必要がある。
事務局	<p>(2) 出水市公共施設白書について</p> <p>(「出水市公共施設白書」製本版を配布し、内容の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2章 P16～P21 出水市の施設の全体的な状況について ・第4章 P162～P165 出水市における今後の課題について説
委員長	一人当たり施設が多い、というのは合併したところの運命。そこをどういうふうに縮小していくかがこれからの課題。何か質問などがあるか。

委員	P164 の推計結果をみると、今後、出水市の施設の面積を3分の1程度に減らさなくてはいけないということか。
委員	全国でも同じような状況。削減の仕方によっては、さまざまな工夫の仕方がある。いくつかの施設を1か所に集約するなど、今よりは使い勝手が悪くなる可能性は高いが、機能は維持できる。現実的には3割は無理だと思うが、縮小することは避けられないので、どうしていくかをこの委員会で検討していく。
委員	少子高齢化の状況も加味して施設配置について検討していくということでしょうか。
委員	福祉計画、教育計画などとのすりあわせも必要になる。
委員	この委員会では、全国平均とか他団体平均にあわせるのが目的ではなく、出水市にふさわしい施設をどう適切に配置するかを議論するということがよいか。
委員	もちろん、お金の問題さえなければ必要な全部の施設を維持することができる。お金がないことを念頭において検討する必要がある。
委員	グラウンド等の管理は指定管理者などの導入、保育園は民営化をすすめるなど具体的に行われているが、庁舎に市民交流機能を入れるという計画があるか。市営住宅の計画はどのようになっているか。
事務局	公営住宅、市営住宅については、平成25年度に公営住宅等長寿命化計画の中で方向性が決定しているが、これも含めて検討する。本庁舎については、実施設計が完了しており、今から設計変更するのは困難。
委員	利用率の低い施設。年に何回しか使わない施設がある。利用効果をきちんと表せば（施設廃止にも）説得力がある。
委員	車社会なので、近隣の施設まで車で10-15分。近隣の施設を利用することを受け入れてもらうような説得も必要。
委員	出水市には子育て支援のための施設が乏しいと感じている。新庁舎の中に、子供・お母さんたちが集えるようなスペースがあるか。
事務局	新庁舎の1階には作品の展示、交流等ができる市民交流スペースを設けている。
委員	庁舎は夕方、夜、土日に閉まることがあって、利用しにくい部分もある。学校の一角に交流スペースを作るとか、公民館を子育て交流にも使うなど発想の転換が必要。
委員	P164 のグラフに長寿命化による経費節減額などは加味されているか。
委員	長寿命化は含めていない。長寿命化してもいつかは建て替え時期が来るし、毎年の維持

	<p>管理費用は必要となる（そのため費用面での効果は小さい）。機能面の工夫（使える時間帯、多用途に使える工夫）で施設を集約して数量を縮小することの検討が中心になると思われる。</p>
事務局	<p>(3) 住民アンケートの結果について</p> <p>（事務局より資料2について説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したアンケートについて ・アンケート結果について
事務局	<p>(4) 住民説明会について</p> <p>（事務局より 検討委員会資料 P1 について説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日程と開催場所について ・内容について
事務局	<p>(5) インフラ長寿命化計画及び公共施設等総合管理計画について</p> <p>（事務局より 検討委員会資料 P2～P4 について説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化基本計画等について ・公共施設等の総合的な管理による老朽化対策等の推進について
事務局	<p>(6) 先進事例（統廃合等）の紹介について</p> <p>（事務局より 検討委員会資料 P5～P9 について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県秦野市の例 ・岡山県倉敷市の例 ・千葉県佐倉市の例 ・愛知県西尾市の例
委員	<p>住民説明会でどのような説明をする予定か。</p>
事務局	<p>あくまで総論的な説明を実施する予定。具体的な施設に触れることはない。</p>
委員	<p>説明会の周知の方法についてどのように実施する予定か。</p>
事務局	<p>防災無線での放送、広報 11月号での掲載、ホームページへの掲載で実施する予定。</p>
委員	<p>過去の野田町の都市計画見直しの住民説明会では出席者が20名程度だった。どういった内容を説明するのか、大事な説明会であることをわかるように周知していただきたい。</p>
事務局	<p>広報いずみで3回ほど公共施設の話について紹介してきたので、そのことについてと、</p>

	内容がわかるようなお知らせの仕方をする。
	4 審議事項
事務局	(1) 利用者アンケートの実施について (事務局より 検討委員会資料 P10 をもとに説明。) ・実施期間、実施方法、アンケート項目等
委員	利用する内容について聞く設問があるとよい。
委員	利用料金について、どのくらいまで値上げが許せるのかを問う設問があるとよい。
事務局	(2) 公共施設適正配置計画の概要について (事務局より 検討委員会資料 P10 をもとに説明。) ・シンボル事業と中長期事業にわけて計画を策定する
事務局	(3) 公共施設マネジメント基本方針について (事務局より 検討委員会資料 P11、 資料3 、 資料4 をもとに説明。) ・先進自治体事例について ・基本方針案について ・床面積の削減目標について先進自治体の事例について
委員長	先進団体の中でも、役所の中で調整、計画づくりに数年かかって実行に踏み切れていない。その間にも老朽化が進んでいる。そんなケースが多い。うまくいっている団体は、具体的な一歩を進めたところ。具体的に進めてみると、部局も巻き込んで、市民も巻き込んで考える必要がでてきて、思いもよらなかった反対意見やいいアイデアも出てきて、進める人もでてくる。そういう意味でシンボル事業というものを設定して具体的にすすめていくことを御提案させていただいた。
委員	施設の改修についてもこの委員会の中で議論の余地があるか。 改修も含めて議論を行う。たとえば、支所のスペースにいくつかの機能を組み込もうというプランにするとしたら必ず改修が必要になる。単純に面積だけの話ではなく、支所の中に郵便局や銀行の機能を組み込むか、といったところも含めて議論する。
委員	基本方針の(3)できる限り必要な機能の維持に努めるというところに関して、従来行政が提供してきたサービスを住民等と協働で提供する、ということを制度化している事例はないか。
委員	個別の計画の中では良い事例が数多くあるが、全体の計画を立てている自治体は少ない。

	市の所有かどうかにかかわらず、いろんな人が使える、使いやすい施設にする工夫が必要。地域に公民館を譲渡した事例（秦野市）もある。
委員	この委員会では、全9回しかない中で何ができるのか。
委員	この委員会は、こんな使い方ができないか、こういうふうにしてはどうか、というアイデアを出して、大まかな方向性を決定する場と考えていただきたい。
委員	市の職員が考えたものをこちらに提示する方法がよいのではないかと。
委員	原案は市で考え、皆さんの意見やアイデアをいただくかたちになる。地域の実状などは委員の皆さんのほうが詳しいと思うので、そういうことも踏まえたアイデアやご意見をいただきながら、議論を重ねながら方向性を決めていきたい。
委員	こういう状況の中、施設を減らすと言っているのに新庁舎を建てるというのは納得いかない人も多いのではないかと。
委員	庁舎建設に関しては、耐震性に問題があり、災害時の避難所や対策本部として機能しないなどの要因もあって今回建て替えとなった。
委員	住民説明会の告知の方法で、各自治館長さんに通知を回してもらうなどはどうか。
委員長	今回は駆け足にはなったが、多くの意見が出てよかった。市のほうも緊張感をもって取り組めるのではないかと。今後とも協力をお願いしたい。
	5 その他
事務局	(1) 第3回の開会日時について 11月6日（木） 午前9：30
委員	(2) 会場の作り方について (要望) 事務局の説明が後ろから聞こえるので、議論がしやすいよう工夫してほしい。
委員	(3) 次回の審議内容について 今度の住民説明会の内容に基本方針が含まれているが、次回、11月6日に公共施設マネジメントの基本方針を決めるということによいか。
事務局	次回委員会で、基本方針案、可能であれば削減目標についても審議をする。
委員	(4) 支所庁舎検討委員会について 住民説明会で、支所庁舎検討委員会でこういう話をすすめているということも報告が必

事務局	<p>要ではないか。支所庁舎検討委員会の開催はいつになるか。</p> <p>施設マネジメントの基本方針が定まったところで、1月頃に支所建設検討委員会を開催する予定としている。</p> <p>(事務局より 終了あいさつ)</p>
-----	---